浜四郷コミュニティセンター報
No. 457

さんぽみち 7

令和4年6月23日発行

E-mail　hamashigou-cc@city.fukui-sakai.lg.jp　　三国町下野５８-１６　　TEL/FAX　0776-81-3001

参加者募集

浜四郷地区まちづくり協議会　研修会

～風力・科学を学びに行こう！！～

日　　時：７月２２日（金）　８時30分集合
定　　員：30名
参 加 費：大人　２，０００円
（浜四郷地区まち協以外の方は２，５００円）
子供　１，０００円
申込締切：７月１１日（月）
申込方法：浜四郷コミュニティセンターまで
電話にてご連絡ください。
TEL　81-3001（8:30～17：00）

日　　程

８：30	浜四郷コミュニティセンター集合
９：００～	三国風力発電所見学
	福井県年縞博物館見学
	昼食
	原子力の科学館あっとほうむ
１７：００	浜四郷コミュニティセンター到着

まちづくり協議会　体育育成部会

フライングディスク体験会が行われました

6月19日（日）　臨海体育館隣接砂丘地にてディスクゴルフ、臨海体育館でゲッターナイン、アキュラシーを体験しました。晴天に恵まれ、親子54名が参加し元気いっぱい体を動かし汗を流しました。

～コミセン講座はじまりました～

こまった時の丼ぶりアレンジ講座

6月10日（金）、第1回目はいろいろな料理に応用できる合わせ調味料、焼肉のたれ作りを学び、豚丼を作りました。簡単でしかも美味しいと大好評でした。先生に教えていただいたアレンジ術で、丼ぶりのレパートリーが増えそうですね。

招魂祭のご案内

浜四郷コミュニティセンターにおいて浜四郷地区の招魂祭が行われます。地区の皆さま方には多数お参りいただきますようお願いいたします。

日　時：７月１０日（日）午前１１時
場　所：浜四郷コミュニティセンター（多目的ホール）　神式

夏休み子ども教室開催のおしらせ

今年も、夏休み子ども教室を行います。7月は写生教室、8月は貯金箱づくりを予定しています。詳細につきましては、小学校から配られるチラシをご覧ください。

青少年育成坂井市民会議　浜四郷支部

６月１４日（火）三国西小学校の玄関先で、各地区の支部員さんと「あいさつ運動」を行いました。元気いっぱいのあいさつで、気持ちのよい朝を迎えることができました。

支部長さんから小学校へ
救急バンを贈呈しました。

蛍光灯・乾電池の回収日は毎月第４水曜日です。浜四郷コミュニティセンター玄関内に回収箱を設置しています。

＜7月講座等使用予定表＞

6月23日現在の予定ですので、変更する場合がございます。
ご了承ください。

日	曜日	コミュニティセンター	臨海体育館	日	曜日	コミュニティセンター	臨海体育館
1	金			16	土	刺しゅうとパッチワーク教室	スプリングクラブ
2	土	刺しゅうとパッチワーク教室	スプリングクラブ	17	日	休館日	浜風バレー 米納津子ども会
3	日		浜風バレー	18	月	休館日	
4	月			19	火	ボールペン筆ペン講座	
5	火	音楽体操いきいき教室 ボールペン筆ペン講座		20	水		
6	水			21	木		ファミリーバドミントン
7	木	カラオケふたば会	ファミリーバドミントン	22	金		
8	金	【コミセン講座】 こまった時の丼アレンジ講座		23	土	刺しゅうとパッチワーク教室	スプリングクラブ
9	土	刺しゅうとパッチワーク教室	スプリングクラブ	24	日		浜風バレー
10	日	**招魂祭**	浜風バレー	25	月		健康体操
11	月			26	火	【コミセン講座】 クラフトバンド　四つ畳編み	
12	火	【コミセン講座】 クラフトバンド　四つ畳編み		27	水	【子ども教室】 写生教室①	
13	水			28	木		ファミリーバドミントン
14	木		ファミリーバドミントン	29	金	【子ども教室】 写生教室②	
15	金			30	土		スプリングクラブ
				31	日		浜風バレー

公式SNS
はじめました！
いろいろな情報を
発信していきます。
フォローお待ち
していません♪

LINE公式アカウント

友だち募集中

右のQRコードを読み込んでください

インスタグラム

＼Follow Me／
はじめました

右のQRコードを読み込んでください

HAMASHIGOU_CC

～健康コラム～

こしの医院　越野　雄祐医師

今回は子宮頸がんワクチンについてお話ししましょう。メディアで取り上げられているので聞かれたことがあると思いますが、今年の4月から子宮頸がんワクチンの国による積極的勧奨が再開されています。平成25年4月からこのワクチンは定期接種化されたのですが筋肉注射であり、接種対象者が10代の女性であったこともあり、接種後に接種部位に限らない体の広範囲な部位に持続する疼痛や説明できない苦痛症状が出た方が多数おられたために、一部マスコミにおいて過剰で執拗な副作用報道がなされました。この結果国による接種勧奨がいったん休止となってしまいました。その後こういった症状はその他の医療行為でも一定の割合で起こることであり、ワクチンとの明確な因果関係は否定されています。にもかかわらずワクチンの接種勧奨再開に実に8年もの歳月がかかってしまいました。この間に子宮頸がんに罹患し命をおとされた方が多数おられます。この人たちはワクチンを打っていれば救えた命かもしれません。日本では年間1万人以上の方が子宮頸がんに罹患し、3000人程度の方がお亡くなりになっています。しかも発症は20歳後半から増え始め40歳台にピークが来ます。つまり働き盛りや子育て真っ最中の女性がかかってしまうのです。世界的には子宮頸がんはワクチンで予防できるがんであり、このワクチンは安全に接種できるワクチンとして広く普及しています。国によっては女性のみならず男性に接種することを推奨し定期接種を開始している国もあります。今や我が国は子宮頸がんワクチンに関しては後進国のレッテルを貼られており、このワクチン接種を勧めないことは政府の怠慢であるとまで言われています。日本の産婦人科学会はこの状況に危機感を覚えており今後ワクチン接種を一生懸命に推進しようとしています。もちろん接種によって何らかの副反応を呈する人が出てくることも忘れてはいません。我々のところには接種する際の詳細な説明や接種時の注意点について周知がなされており、万一の副反応が出た際の診療体制も確立しています。ワクチンに関する情報も様々あります。正しい知識を得て、親子でよく話し合って接種するかどうか考えてください。